

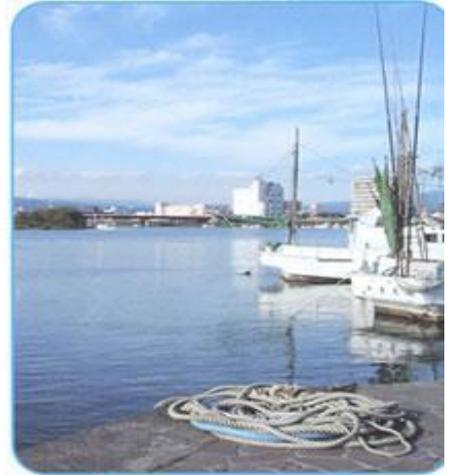
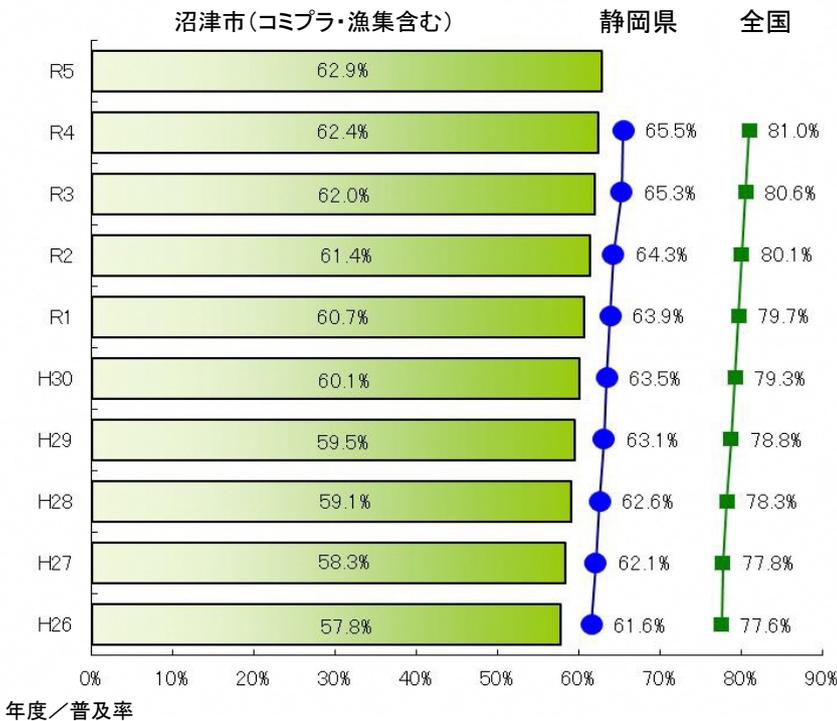
下水道

令和6年度版

下水道は自然と暮らしの
環境を守ります。

ここまでできました沼津の下水道

(下水道普及率の推移)



●川や海がきれいになります。



●下水道の普及・促進に努めています。

年度／普及率

※H23末(全国)は東日本大震災の影響で、岩手県、福島県について調査対象外。
平成24年度調査は、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があった福島県を除いた都道府県の集計データを用いている。

下水道供用済人口

$$\text{普及率} = \frac{\text{下水道供用済人口}}{\text{市人口}} \times 100$$

下水道事業の変遷

年度

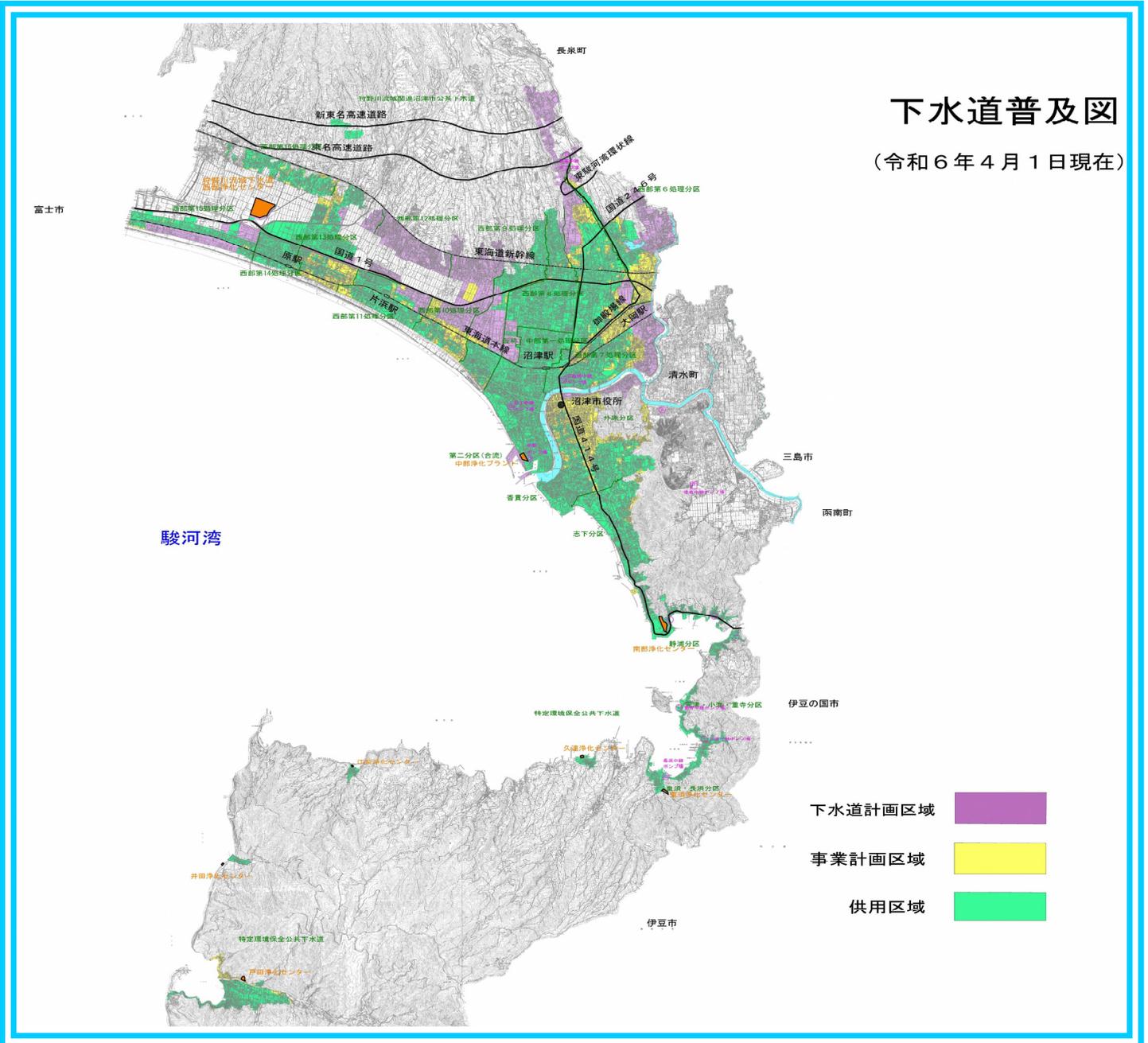
- | | |
|-----------------|-------------------------|
| S42・中部処理区事業認可 | 63・機構改革により下水道部を設立 |
| 44・沼津市下水道条例施行 | H6・西部処理区供用開始 |
| 51・久連処理区事業認可 | 7・狩野川左岸処理区事業認可・下水道使用料改定 |
| 53・中部処理区供用開始 | 8・狩野川左岸処理区事業着手 |
| ・沼津市下水道条例全部改正 | 14・下水道部を水道部に統合 |
| ・受益者負担に関する条例施行 | 15・狩野川左岸処理区供用開始 |
| 54・久連処理区供用開始 | 17・戸田処理区事業統合 |
| 55・重須・長浜処理区事業認可 | 18・企業会計に移行 |
| 60・重須・長浜処理区供用開始 | 19・戸田処理区供用開始 |
| ・内浦処理区認可変更 | 21・機構改革により上水道事業と組織統合 |
| (三津・小海・重寺地区追加) | 26・下水道使用料改定 |
| 62・西部処理区事業認可 | 31・下水道使用料改定 |



●さわやかで清潔な暮らしができます

下水道普及図

(令和6年4月1日現在)



下水道普及一覽

●公共下水道

処理区	全体計画区域※1		事業計画区域※2		供用区域	
	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)
中部	342.00	18,830	334.04	19,290	332.81	20,456
久連	9.50	290	9.50	300	9.50	244
内浦	51.68	1,790	51.68	1,840	51.68	1,454
狩野川左岸	673.56	32,210	643.40	31,820	456.10	21,241
戸田	86.00	2,320	86.00	2,380	71.32	1,685
流域関連(西部)	2,474.56	102,070	1,650.08	77,530	1,207.54	72,144
合計	3,637.30	157,510	2,774.70	133,160	2,128.95	117,224

(令和6年4月1日現在)

●地域し尿処理施設

江梨	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)
江梨	5.10	750	5.10	750	5.10	152

(令和6年4月1日現在)

●漁業集落排水処理施設

井田	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)
井田	4.10	110	4.10	110	4.10	50

(令和6年4月1日現在)

※1——令和12年度見込み

※2——令和10年度見込み

■ 中部浄化プラント



中部浄化プラント施設概要

所在地	沼津市本字千本 1905-4
供用開始	昭和 53 年 11 月
排除方法	分流式（一部合流式）
計画処理人口	31,530 人（観光人口含む）
処理方法	標準活性汚泥法
汚泥処理方法	重力・機械→消化→脱水
敷地面積	20,270 m ²
処理区域	中部処理区（市内中心部）
処理面積	342ha
処理能力	26,460 m ³ /日最大

■ 狩野川西部浄化センター（県管理）

区分	流域関連沼津市分 (全体計画)	事業計画区域沼津市分
計画面積	2,474.56ha	1,650.08ha
処理人口	102,070 人	77,530 人
処理水量	62,287 m ³ /日最大	45,061 m ³ /日最大
西部浄化センター	所在地	原 3060-1
	敷地面積	18.39ha
	処理方法	標準活性汚泥法
	排除方法	分流式
	処理能力	162,900 m ³ /日最大

西部浄化センター施設概要



■ 南部浄化センター



南部浄化センター施設概要

所在地	沼津市江浦 7-3
供用開始	平成 16 年 3 月
排除方法	分流式
計画処理人口	45,420 人（観光人口及び清水町分含む）
処理方法	標準活性汚泥法
汚泥処理方法	重力・機械→脱水
敷地面積	41,400 m ²
処理区域	狩野川左岸処理区（沼津市・清水町）
処理面積	872.56ha（清水町 199ha 含む）
処理能力	26,700 m ³ /日最大

■ 戸田浄化センター

戸田浄化センター施設概要

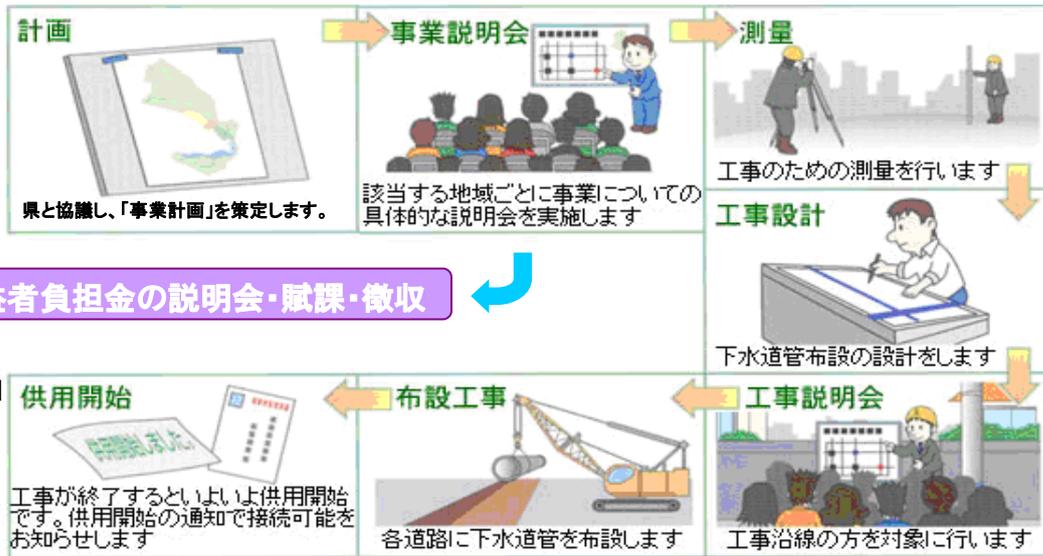
所在地	沼津市戸田 932-3
供用開始	平成 20 年 3 月
排除方法	分流式
計画処理人口	4,920 人（観光人口含む）
処理方法	膜分離活性汚泥法
汚泥処理方法	機械脱水
敷地面積	4,300 m ²
処理能力	2,140 m ³ /日最大



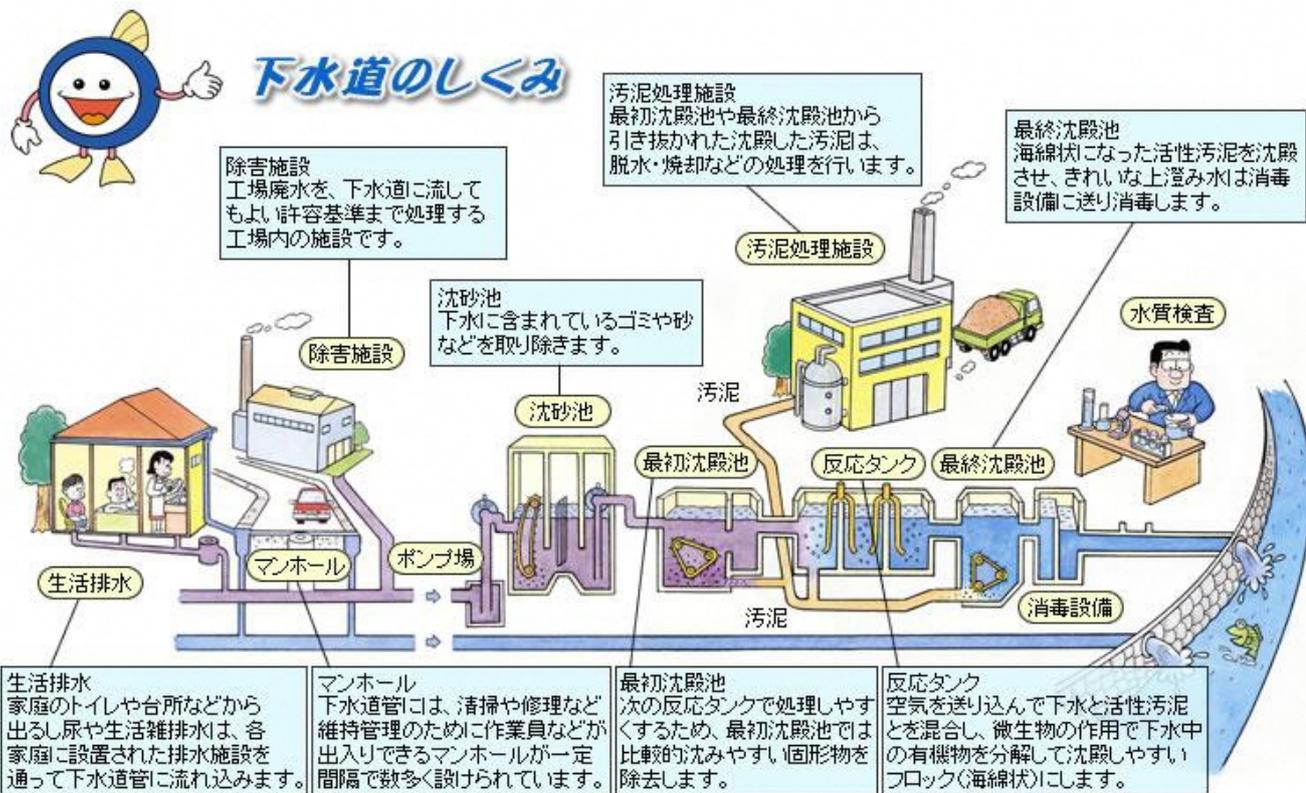
■ その他処理施設・ポンプ場

	公 共 下 水 道						地域し尿処理施設	漁業集落排水処理施設
	重須浄化センター	久連浄化センター	中部ポンプ場	松下中継ポンプ場	長浜中継ポンプ場	三枚橋中継ポンプ場	江梨浄化センター	井田浄化センター
位置	内浦重須 60-1	西浦久連 3-1	本字千本 1905-1	本松下 849-1	内浦長浜 176-2	三枚橋町 6-16	西浦江梨 1000-12	井田 395
敷地面積	8,230 m ²	1,206 m ²	8,112 m ²	830 m ²	138 m ²	496 m ²	162 m ²	1,420 m ²
処理水量	2,687 m ³ /日最大	612 m ³ /日最大	16.70 m ³ /分	8.90 m ³ /分	1.85 m ³ /分	4.56 m ³ /分	150 m ³ /日最大	260 m ³ /日最大
処理方法	長時間エアレーション法	長時間エアレーション法	—	—	—	—	長時間ばっき法	接触ばっき法
供用開始	昭和 61 年 3 月	昭和 54 年 4 月	昭和 45 年 4 月	昭和 62 年 4 月	昭和 61 年 3 月	平成 9 年 4 月	昭和 47 年 4 月	平成 11 年 4 月

下水道が使用できるようになるまで…



受益者負担金の説明会・賦課・徴収



問い合わせ

こんな時は…	連絡先
これからの下水道の計画や工事の予定について 下水道の本管工事・私道の下水道設置について 道路のマンホールから汚水があふれている	沼津市水道部下水道整備課 〒410-8601 沼津市御幸町16番1号 TEL 934-4861・4864・4867 E-mail gesui-se@city.numazu.lg.jp
受益者負担金・下水道使用料について 排水設備工事と改造資金融資あっ旋制度について 流せないものの問い合わせや、維持管理について	沼津市水道部水道サービス課 〒410-8601 沼津市御幸町16番1号 TEL 934-4856 E-mail suido-sa@city.numazu.lg.jp
宅内の排水設備が詰ったり、壊れたりしたら	市が指定している排水整備業者へ
下水道のポンプ場・処理場について	沼津市下水道施設管理センター 〒410-0103 沼津市江浦7番地の3 TEL 939-0811 E-mail gesui-na@city.numazu.lg.jp

◎沼津の下水道ホームページ → <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/sumai/gesui/>
 または